2025

京都開催の国際会議

2025.1.1~2025.12.31

令和８年６月発行

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
Kyoto Convention & Visitors Bureau

INDEX

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・01

本国際会議統計に関して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・02

1 2025 年に京都で開催された国際会議＜概要＞・・・・・・・・・・・・・・・・03

1. 京都市域・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・03
2. 京都府域（京都市域を除く）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・03

2 2025 年に京都で開催された国際会議＜詳細＞・・・・・・・・・・・・・・・・04

1. 京都市域内開催分
   〔1〕年別 開催実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・04
   〔2〕会場別 開催件数（上位）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・04
   〔3〕主要都市 開催件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・04
   〔4〕月別実績表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・05
   〔5〕過去の月別 開催件数（京都市域分 / 全国）・・・・・・・・・・・・・・05
   〔6〕総参加者数別 開催件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・06
   〔7〕海外参加者数別 開催件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・06
   〔8〕国内参加者数別 開催件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・06
   〔9〕参加国数別 開催件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・07
   〔10〕開催日数別 開催件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・07
   〔11〕分野別 開催件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・07
2. 京都府域内開催分（京都市域除く）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・07

3 国際統計との比較・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・08

4 総参加者が1,000名以上または、海外参加者が200名以上の国際会議・・09

MICE サポートサービス、京都 MICE 基金のご案内・・・・・・・・・・・・・・・・13

京都文化交流コンベンションビューロー主な事業内容・・・・・・・・・・・・・・14

京都文化交流コンベンションビューロー概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

はじめに

当財団は、京都府・京都市・京都商工会議所・MICE関連施設・会員の皆様とともに、オール京都体制のもと、積極的にMICE誘致に取り組んでまいりました。

このたび、2025年の国際会議開催件数を取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

2025年は、国際会議の開催件数が前年に引き続き増加し、京都全域で259件と、2020年以降で最も高い水準となりました。

京都市域においては、国内参加者数は前年より減少した一方、海外参加者数は増加しており、5月には日本での開催が31年ぶりとなる「世界超音波医学生物学連合第20回学術集会(WFUMB 2025)」、9月には19年ぶりの日本開催となる「第15回国際先天代謝異常学会(ICIEM 2025)」がそれぞれ京都市で開催されるなど、参加国数70か国を超える国際会議が多数開催されました。 また、月別開催件数については、助成金等を活用した誘導施策により、一定の分散化を図ることができました。 京都府域(京都市域を除く)においては、開催件数は前年と同水準を維持しつつ、大阪・関西万博と連動して開催された国際会議も複数実施されました。

その一方で、国際会議協会(ICCA)統計では、京都市の開催件数は前年より4件増の53件となったものの、世界都市ランキングは46位と、前年から4位下がり、より一層、誘致活動の強化が求められる結果となりました。

また、京都市では本年3月に「京都観光・MICE振興計画2030」を策定されました。本計画では、市民生活との調和を図りながら、京都観光に関わるすべての人々が「観光の本質」を享受できる、持続可能な観光・MICEの推進が掲げられております。京都の奥深い魅力を守り育むことで、新たな文化や産業を創出し、「多彩な共創で未来を切り拓く観光・MICE」の実現を目指すものです。

当財団におきましても、より多くの主催者様への支援を行えるよう体制を強化し、予算を拡充するとともに、環境への配慮や地域貢献など、SDGsに資する取組を推進してまいります。また、京都ならではの文化資源を活かした魅力的なMICEの創出を力強く後押しし、今後さらなるMICE誘致・開催につながるよう、一層努力してまいります。

本統計は、2025年(1月～12月)に京都で開催された国際会議の実績を取りまとめたものであり、今後の誘致活動等における基礎資料となるものです。ご高覧のうえ、京都における国際会議開催について、より一層ご理解を深めていただければ幸いです。

結びに、本統計の作成にあたり、各方面の関係者の皆様より多大なるご理解とご協力を賜りましたことに、厚く御礼申し上げます。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和8年6月

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

本国際会議統計に関して

◆ 本統計は2025年(1～12月)に、京都市域内で開催された国際会議と京都市域を除く京都府域で開催された国際会議の2区分を記載しています。
統計収集にあたっては(公財)京都文化交流コンベンションビューローが京都の各会議施設・大学・研究機関・各種団体並びに会議主催者のご協力を得て作成しました。

◆ 本統計における分析項目は日本政府観光局(JNTO)から発表された「2024 年国際会議統計」と「2024 年の京都市域で開催された国際会議データ」も参考にしています。

◆ 京都で開催された国際会議(P.03 ～ 07)における数値の取扱いについて
ハイブリッド開催やオンライン開催など、さまざまな会議形態が存在するため、下記の通り整理し、その中で基準を満たすものを計上しています。

現地開催	以下の①～④の全てを満たす会議を国際会議として計上(JNTO 基準) ① 主催者：「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」 ② 参加者総数：50 名以上 ③ 参加国数：日本を含む3カ国以上 ④ 開催期間：1日以上
ハイブリッド開催	・現地開催とオンライン開催を併せた開催形態 ・現地参加者が、「現地開催」の基準を満たす会議のみ件数計上し、参加人数は現地参加者数のみを計上
オンライン開催	・オンラインのみで開催される開催形態 ・現地参加者が存在しないため計上しない

◆ 国際会議統計基準について
国際会議統計に関しては、主に
・JNTO （日本政府観光局）
・ICCA （国際会議協会：International Congress and Convention Association）
・UIA （国際団体連合：Union of International Associations）
から発表される統計数値が参考にされるケースが国内では一般的です。
統計手法や基準が各々異なるため、比較できないことに留意しながら各データを活用する必要があります。

団　体	国際会議基準(抜粋)
JNTO(日本政府観光局)	以下の①～④の全てを満たす会議 ① 主催者：「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」 ② 参加者総数：50 名以上 ③ 参加国数：日本を含む3カ国以上 ④ 開催期間：1日以上
ICCA (国際会議協会： International Congress and Convention Association)	①開催国について：3カ国以上での持ち回りの開催実績がある会議(2カ国間会議は除外) ②参加者総数：50 名以上 ③開催期間：定期的に開催している(1 回のみ開催した会議は除外)
UIA (国際団体連合： Union of International Associations)	(1) 国際機関・国際団体(UIA に登録されている機関・団体)の本部が主催又は後援した会議 ①参加者数：50 名以上 ②参加国数：開催国を含む3カ国以上 ③開催期間：1日以上　　又は (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議 ①開催国以外からの参加者(外国人比率)が少なくとも総参加者の 40% ②参加者総数：300 名以上 ③参加国数：5カ国以上 ④開催期間：3日以上

1 2025 年に京都で開催された国際会議 < 概要 >

2025年は、前年に引き続き増加傾向を維持し、開催件数は京都府全体で259件(府・市重複1件あり)と、250件を超え、2020年以降で最も高い水準となった。

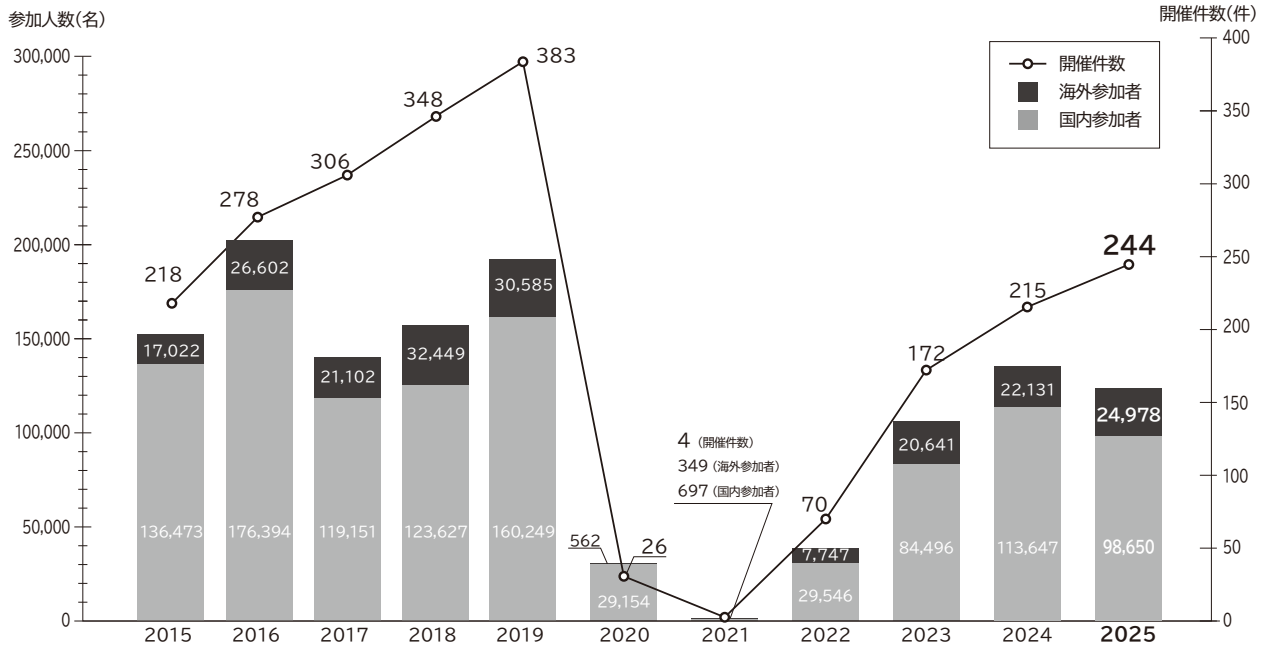
京都市域では、前年から29件増の244件となり、国内参加者数は前年から減少したものの、海外参加者数は大幅に増加し、総参加者数に占める海外参加者の比率は20.2%となった。 京都府域については、前年と同水準の16件となり、安定した開催状況を維持している。

国際会議協会(ICCA)統計では、京都市は前年より4件増の53件となり、世界46位を記録した。東京に次ぐ国内2位を維持するとともに、アジアランキングでは前年から1ランク上昇し10位となった。一方、世界都市ランキングでは前年から4位下がる結果となった。世界的な都市間競争の激化や急速に変化する国際情勢を踏まえ、今後は一層、戦略的な誘致活動の推進が求められる。

1. 京都市域

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	**2025年**	前年比	2019年比
開催件数	383件	26件	4件	70件	172件	215件	**244件**	113.5%	63.7%
海外参加者数	30,585名	562名	349名	7,747名	20,641名	22,131名	**24,978名**	112.9%	81.7%
国内参加者数	160,249名	29,154名	697名	29,546名	84,496名	113,647名	**98,650名**	86.8%	61.6%
総参加者数	190,834名	29,716名	1,046名	37,293名	105,137名	135,778名	**123,628名**	91.1%	64.8%

◆ 年別開催件数及び参加者数(京都市域)



2. 京都府域 (京都市域を除く)

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	**2025年**	前年比
開催件数	16件	3件	0件	6件	9件	15件	**16件**	106.7%
海外参加者数	1,330名	111名	0名	140名	568名	953名	**824名**	86.5%
国内参加者数	13,786名	194名	0名	2,046名	3,365名	3,841名	**3,577名**	93.1%
総参加者数	15,116名	305名	0名	2,186名	3,933名	4,794名	**4,401名**	91.8%

2 2025年に京都で開催された国際会議<詳細>

1. 京都市域内開催分

〔1〕年別 開催実績

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
開催件数	218	278	306	348	383	26	4	70	172	215	244
総参加者数	153,495	202,996	140,253	156,076	190,834	29,716	1,046	37,293	105,137	135,778	123,628
海外参加者数	17,022	26,602	21,102	32,449	30,585	562	349	7,747	20,641	22,131	24,978

〔2〕会場別 開催件数(上位)

施設名	開催件数	前年	海外参加者数	国内参加者数	総参加者数	前年	平均参加国数
京都大学(百周年時計台記念館、数理解析研究所、基礎物理学研究所、芝蘭会館等を含む)	100	78	3,973	9,291	13,264	13,742	8.2
国立京都国際会館	33	32	9,205	52,562	61,767	85,224	28.6
京都リサーチパーク	15	11	798	1,507	2,305	1,596	12.4
立命館大学	13	5	551	1,421	1,972	1,278	10.8
同志社大学	9	10	186	857	1,043	1,482	4.9
京都市勧業館みやこめっせ	8	6	3,648	23,388	27,036	6,652	24.8
ウェスティン都ホテル京都	6	7	553	1,236	1,789	3,872	7.7
京都テルサ	6	8	586	1,229	1,815	2,349	9.3

※複数の会場(施設)で開催されている場合は、開催件数を各施設1件ずつ計上している。※前年数値は、「2024京都開催の国際会議冊子」分析データより。

〔3〕主要都市 開催件数

	京都	東京	横浜	名古屋	大阪	神戸	福岡	他都市の件数
2016年	278 (3)	574 (1)	188 (6)	200 (5)	180 (7)	260 (4)	383 (2)	
2017年	306 (3)	608 (1)	176 (6)	183 (5)	139 (7)	405 (2)	296 (4)	
2018年	348 (3)	645 (1)	156 (6)	202 (5)	152 (7)	419 (2)	293 (4)	
2019年	383 (3)	561 (1)	277 (5)	252 (6)	204 (7)	438 (2)	313 (4)	
2020年	26 (2)	63 (1)	9 (7)	9 (7)	9 (7)	23 (3)	15 (4)	千里地区13件(5位)、仙台10件(6位)
2021年	4 (2)	3 (3)	13 (1)	0 (-)	0 (-)	1 (5)	0 (-)	北九州2件(4位)
2022年	70 (2)	134 (1)	44 (3)	21 (6)	11 (9)	19 (7)	33 (4)	仙台・札幌23件(5位)、広島12件(8位)
2023年	172 (2)	311(1)	98 (3)	62 (5)	45 (9)	54 (7)	79 (4)	仙台60件(6位)、つくば地区46件(8位)、北九州45件(9位)
2024年	215 (2)	351 (1)	103 (4)	87 (6)	89 (5)	63 (8)	131 (3)	仙台76件(7位)
2025年	244	–	–	–	–	–	–	

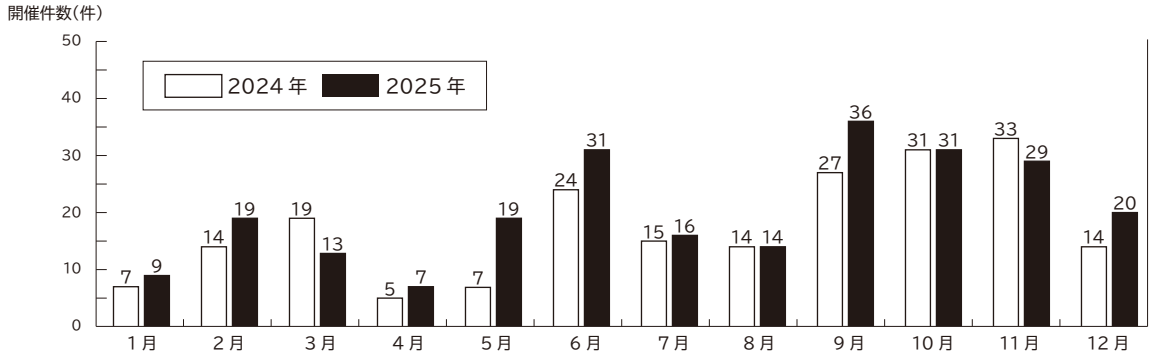
※「日本政府観光局(JNTO)2024年国際会議統計」より。※( )内は全国順位。※2025年の各都市の開催件数は現在未公表。

〔4〕月別実績表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
開催件数	9	19	13	7	19	31	16	14	36	31	29	20	244	20.3
割合(%)	3.7%	7.8%	5.3%	2.9%	7.8%	12.7%	6.6%	5.7%	14.8%	12.7%	11.9%	8.2%		
海外参加者数	233	616	493	992	3,299	3,744	3,056	616	4,097	5,316	1,769	747	24,978	2,082
国内参加者数	21,673	2,647	2,038	547	7,009	9,619	13,458	7,569	3,680	13,258	14,947	2,205	98,650	8,221
参加者総数	21,906	3,263	2,531	1,539	10,308	13,363	16,514	8,185	7,777	18,574	16,716	2,952	123,628	10,302
平均参加国数	9.0	9.2	11.4	14.4	18.7	11.7	12.4	8.3	12.6	15.5	10.7	9.5		12.0

※割合(%)は、四捨五入して小数点 1 位までを表示しているため、合計は必ずしも 100 にはならない。 ※月平均は年間合計値を基に算出し、四捨五入しているため、内訳の合計と一致しない場合がある。

◆ 2024 年および 2025 年開催件数(京都市域分)



〔5〕過去の月別 開催件数(京都市域分 / 全国)

1)過去の開催件数:京都市域分

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
京都市域分	2022年	1	1	1	1	3	8	5	4	12	14	14	6	70	5.8
		1.4%	1.4%	1.4%	1.4%	4.3%	11.4%	7.1%	5.7%	17.1%	20.0%	20.0%	8.6%		
	2023年	3	7	21	4	17	15	15	9	21	20	29	11	172	14.3
		1.7%	4.1%	12.2%	2.3%	9.9%	8.7%	8.7%	5.2%	12.2%	11.6%	16.9%	6.4%		
	2024年	7	14	19	5	7	24	15	14	27	31	33	14	210	17.5
		3.3%	6.7%	9.0%	2.4%	3.3%	11.4%	7.1%	6.7%	12.9%	14.8%	15.7%	6.7%		

※合計が P4 の (1) 年別開催実績の同年の数値と異なるのは、KCVB 調べと JNTO 調べの誤差の範囲であり、傾向には影響を与えない。
※割合(%)は、四捨五入して小数点 1 位までを表示しているため、合計は必ずしも 100 にはならない。

2)過去の開催件数:全国

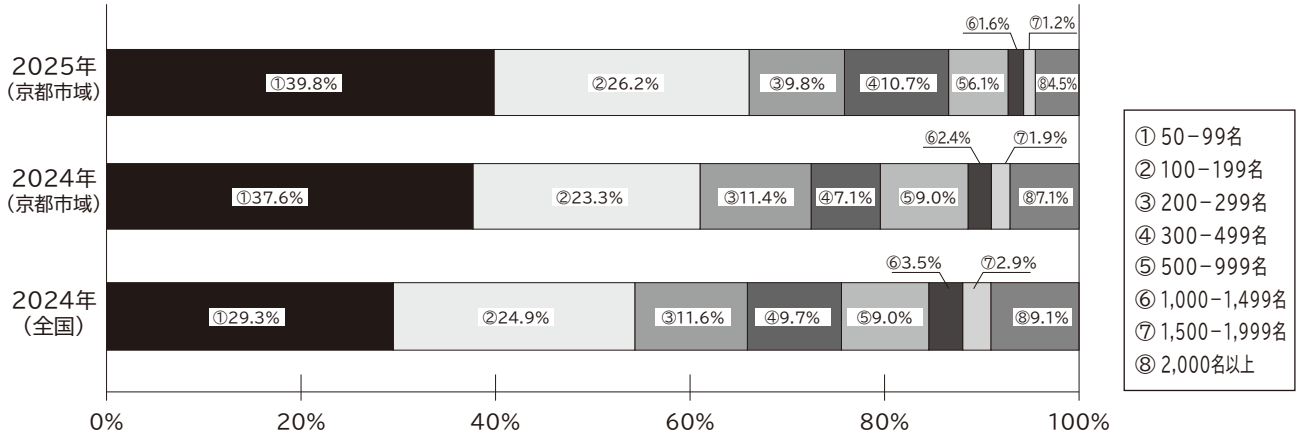
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	月平均
全国	2022年	4	1	7	9	22	34	36	39	82	107	141	71	553	46.1
		0.7%	0.2%	1.3%	1.6%	4.0%	6.1%	6.5%	7.1%	14.8%	19.3%	25.5%	12.8%		
	2023年	36	65	122	62	108	132	106	99	185	158	218	85	1,376	114.7
		2.6%	4.7%	8.9%	4.5%	7.8%	9.6%	7.7%	7.2%	13.4%	11.5%	15.8%	6.2%		
	2024年	58	73	135	70	94	147	152	112	214	249	269	129	1,702	141.8
		3.4%	4.3%	7.9%	4.1%	5.5%	8.6%	8.9%	6.6%	12.6%	14.6%	15.8%	7.6%		

※「日本政府観光局(JNTO)2024 年国際会議統計」より。 ※割合(%)は、四捨五入して小数点 1 位までを表示しているため、合計は必ずしも 100 にはならない。

〔6〕総参加者数別 開催件数

参加者数		50−99名	100−199名	200−299名	300−499名	500−999名	1,000−1,499名	1,500−1,999名	2,000名以上
2025年		97	64	24	26	15	4	3	11
	割合(%)	39.8%	26.2%	9.8%	10.7%	6.1%	1.6%	1.2%	4.5%
2024年		79	49	24	15	19	5	4	15
	割合(%)	37.6%	23.3%	11.4%	7.1%	9.0%	2.4%	1.9%	7.1%
全国	2024年	498	424	198	165	153	59	50	155
	割合(%)	29.3%	24.9%	11.6%	9.7%	9.0%	3.5%	2.9%	9.1%
	2023年	378	328	141	157	137	72	38	125
	割合(%)	27.5%	23.8%	10.2%	11.4%	10.0%	5.2%	2.8%	9.1%

※2024 年数値は、「2024 京都開催の国際会議冊子」、全国数値は、「日本政府観光局(JNTO)2024 年国際会議統計」より。
※割合(%)は、四捨五入して小数点 1 位までを表示しているため、合計は必ずしも 100 にはならない。



〔7〕海外参加者数別 開催件数

参加者数	1−9名	10−49名	50−99名	100−199名	200−299名	300−499名	500−999名	1,000−1,999名	2,000名以上
2025年	64	96	33	26	9	7	4	3	2
割合(%)	26.2%	39.3%	13.5%	10.7%	3.7%	2.9%	1.6%	1.2%	0.8%
2024年	60	78	32	18	11	5	3	1	2
割合(%)	28.6%	37.1%	15.2%	8.6%	5.2%	2.4%	1.4%	0.5%	1.0%

※2024 年数値は、「2024 京都開催の国際会議冊子」より。 ※割合(%)は、四捨五入して小数点 1 位までを表示しているため、合計は必ずしも 100 にはならない。

〔8〕国内参加者数別 開催件数

参加者数	1−9名	10−49名	50−99名	100−199名	200−299名	300−499名	500−999名	1,000−1,499名	1,500−1,999名	2,000名以上
2025年	4	62	69	57	12	19	8	2	1	10
割合(%)	1.6%	25.4%	28.3%	23.4%	4.9%	7.8%	3.3%	0.8%	0.4%	4.1%
2024年	3	46	62	41	13	12	10	7	4	12
割合(%)	1.4%	21.9%	29.5%	19.5%	6.2%	5.7%	4.8%	3.3%	1.9%	5.7%

※2024 年数値は、「2024 京都開催の国際会議冊子」より。 ※割合(%)は、四捨五入して小数点 1 位までを表示しているため、合計は必ずしも 100 にはならない。

〔9〕参加国数別 開催件数

参加国数	3−5カ国	6−9カ国	10−14カ国	15−19カ国	20−29カ国	30−49カ国	50カ国以上
2025年	95	59	31	15	20	17	7
割合(%)	38.9%	24.2%	12.7%	6.1%	8.2%	7.0%	2.9%
2024年	77	47	37	12	22	8	7
割合(%)	36.7%	22.4%	17.6%	5.7%	10.5%	3.8%	3.3%

※2024年数値は、「2024京都開催の国際会議冊子」より。 ※割合(%)は、四捨五入して小数点1位までを表示しているため、合計は必ずしも100にはならない。

〔10〕開催日数別 開催件数

開催日数	1日	2日	3日	4日	5日	6−7日	8日以上
2025年	40	61	64	32	38	5	4
割合(%)	16.4%	25.0%	26.2%	13.1%	15.6%	2.0%	1.6%
2024年	38	54	51	33	22	5	7
割合(%)	18.1%	25.7%	24.3%	15.7%	10.5%	2.4%	3.3%

※2024年数値は、「2024京都開催の国際会議冊子」より。 ※割合(%)は、四捨五入して小数点1位までを表示しているため、合計は必ずしも100にはならない。

〔11〕分野別 開催件数

分　野	2025年		2024年		全 国	
	開催件数	割合(%)	開催件数	割合(%)	2024年	2023年
科学・技術・自然	135	55.3%	117	55.7%	51.0%	50.9%
医学	47	19.3%	43	20.5%	21.9%	22.9%
芸術・文化・教育	37	15.2%	30	14.3%	8.6%	7.1%
政治・経済・法律	17	7.0%	8	3.8%	8.6%	9.2%
産業	3	1.2%	2	1.0%	3.6%	2.3%
社会	2	0.8%	7	3.3%	2.1%	2.9%
社交・親善	2	0.8%	2	1.0%	0.2%	0.7%
宗教	1	0.4%	1	0.5%	0.4%	0.2%
スポーツ	0	0.0%	0	0.0%	0.4%	0.4%
運輸・観光	0	0.0%	0	0.0%	1.2%	1.2%
その他	0	0.0%	0	0.0%	2.0%	2.2%

※2024年数値は、「2024京都開催の国際会議冊子」、全国数値は、「日本政府観光局(JNTO)2024年国際会議統計」より。
※割合(%)は、四捨五入して小数点 1 位までを表示しているため、合計は必ずしも 100 にはならない。

2. 京都府域内開催分（京都市域除く）

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
開 催 件 数	16件	3件	0件	6件	9件	15件	16件
海外参加者数	1,330名	111名	0名	140名	568名	953名	824名
国内参加者数	13,786名	194名	0名	2,046名	3,365名	3,841名	3,577名
総 参 加 者 数	15,116名	305名	0名	2,186名	3,933名	4,794名	4,401名

3 国際統計との比較

1. ICCA統計（2025年）での各都市ランキング

＜国内都市上位ランキング及び世界ランキング＞

都市名	2018年	2019年	2022年	2023年	**2024年**	**2025年**	2025年国内順位
東　京	123(13位)	131(10位)	39(41位)	91(13位)	97(16位)	**119(10位)**	1
京　都	59(41位)	67(35位)	29(66位)	41(52位)	49(42位)	**53(46位)**	2
大　阪	15(196位)	21(143位)	5(326位)	20(116位)	27(94位)	**35(80位)**	3
札　幌	20(143位)	25(117位)	15(138位)	17(133位)	24(105位)	**24(112位)**	4
福　岡	26(103位)	28(108位)	8(223位)	17(133位)	21(117位)	**23(116位)**	5
横　浜	25(110位)	21(143位)	15(138位)	20(116位)	14(167位)	**23(116位)**	5
北九州	8(302位)	7(332位)	6(292位)	–	15(159位)	**16(167位)**	7
神　戸	21(134位)	35(82位)	10(186位)	12(184位)	12(199位)	**15(184位)**	8
松　江	6(365位)	7(332位)	7(256位)	5(332位)	7(293位)	**14(198位)**	9
仙　台	22(129位)	17(176位)	9(202位)	15(150位)	13(183位)	**11(239位)**	10
奈　良	13(214位)	14(203位)	–	5(332位)	6(323位)	**10(254位)**	11
金　沢	7(335位)	5(424位)	8(223位)	–	8(274位)	**9(280位)**	12
つくば	9(272位)	7(332位)	–	9(228位)	13(183位)	**9(280位)**	12
名古屋	19(154位)	19(159位)	9(202位)	11(196位)	14(167位)	**7(339位)**	14
広　島	13(214位)	13(210位)	8(223位)	7(270位)	12(199位)	**6(369位)**	15

※件数（カッコ内は世界順位）
※順位・件数は各年発表時点の ICCA Business Analytics -Country & City Rankings- 参照
※新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、2020 年、2021 年の都市ランキングは発表されていません。

＜2025年世界都市上位10位ランキング＞

順位	都 市 名	開催件数
1	リスボン	188
2	パリ	174
3	バルセロナ	166
4	ウィーン	159
5	シンガポール	156
6	プラハ	133
7	コペンハーゲン	131
8	ロンドン	124
9	ソウル	121
10	東京	119

＜2025年アジア・オセアニア都市上位15位ランキング＞

順位	都 市 名	開催件数
1	シンガポール	156
2	ソウル	121
3	東京	119
4	バンコク	118
5	香港	102
6	台北	89
7	クアラルンプール	73
8	シドニー	62
9	上海	57
10	京都	53
11	北京	51
12	ブリスベン	50
12	釜山	50
14	バリ	48
15	マカオ	47

2. UIA統計（2024年）での各都市ランキング（2025年統計は現在未公表）

＜2024年世界都市上位10位ランキング＞

順位	都 市 名	開催件数
1	ブリュッセル	388
2	ウィーン	239
3	ソウル	180
4	バルセロナ	159
5	東京	148
6	ローマ	142
7	リスボン	140
8	マドリード	113
9	パリ	110
10	ドバイ	109

※上記の数値は、UIAが設定する統計基準に基づいたデータを、日本政府観光局（JNTO）が順位付けしたものとなる。（基準の詳細はP2を参照）

＜2024年アジア・オセアニア地域都市上位15位ランキング＞

順位	都 市 名	開催件数
1	ソウル	180
2	東京	148
3	ドバイ	109
4	シドニー	82
5	クアラルンプール	71
6	バンコク	65
7	シンガポール	61
8	香港	49
9	釜山	44
9	アブダビ	44
11	メルボルン	39
12	京都	34
13	仁川	32
14	台北	31
15	バリ	29

4 総参加者が 1,000 名以上または、海外参加者が 200 名以上の国際会議（38 件 / 会期順）

期 間	会 議 名	参加国数（日本含）	海外参加者数	国内参加者数	参加者総数	会 場
1/22~1/24	JANOG55 Meeting（Japan Network Operator's Group）	20	53	4,389	4,442	京都市勧業館みやこめっせ
1/23~1/26	公益社団法人日本青年会議所2025年度京都会議	13	81	16,818	16,899	国立京都国際会館
2/16~2/20	ISMRMワークショップ 拡散の40年：過去、現在、未来の展望	30	342	37	379	芝蘭会館別館、京都大学 医学部創立百周年記念施設 芝蘭会館
4/25~4/28	第13回いけばなインターナショナル世界大会	37	743	253	996	国立京都国際会館
5/25~5/26	第9回NanoLSIシンポジウム	39	478	493	971	ロームシアター京都、京都市勧業館みやこめっせ
5/25~5/30	第19回大環状および超分子化学国際会議	39	476	498	974	ロームシアター京都、京都市勧業館みやこめっせ
5/30~6/1	世界超音波医学生物学連合第20回学術集会（WFUMB 2025）日本超音波医学会第98回学術集会	70	1,339	4,535	5,874	国立京都国際会館
6/2~6/6	第20回国際材料強度会議	23	385	220	605	国立京都国際会館
6/8~6/12	2025 VLSI シンポジウム	27	1,253	609	1,862	リーガロイヤルホテル京都
6/9	The 2025 Spintronics Workshop	19	211	155	366	リーガロイヤルホテル京都

期 間	会 議 名	参加国数（日本含）	海外参加者数	国内参加者数	参加者総数	会 場
6/12~6/14	第62回日本リハビリテーション医学会学術集会	5	20	3,426	3,446	国立京都国際会館
6/15~6/20	第25回ナノチューブおよび低次元材料の科学と応用に関する国際会議	26	220	200	420	京都大学 百周年時計台記念館
6/26~6/27	第79回日本食道学会学術集会	3	4	1,348	1,352	国立京都国際会館
6/30~7/4	The 16th International Conference on Advanced Systems in Public Transport (CASPT2025) The 10th International Workshop and Symposium on Research and Applications on the Use of Passive Data from Public Transport	41	335	104	439	京都大学 百周年時計台記念館、芝蘭会館
7/2~7/4	IVS2025KYOTO	70	2,500	10,500	13,000	京都市勧業館みやこめっせ、ロームシアター京都 他
7/29~8/1	画像の認識・理解シンポジウムMIRU2025	21	150	1,600	1,750	国立京都国際会館
8/22~8/23	第66回日本人間ドック学会学術大会	5	15	6,059	6,074	国立京都国際会館
9/1~9/5	第22回IUPAC有機合成指向有機金属化学国際会議	27	308	475	783	ホテルグランヴィア京都
9/2~9/6	第15回国際先天代謝異常学会(ICIEM 2025)	85	2,350	450	2,800	国立京都国際会館
9/7~9/10	第19回国際ワクチン学会	51	280	50	330	国立京都国際会館

期 間	会 議 名	参加国数（日本含）	海外参加者数	国内参加者数	参加者総数	会 場
10/5~10/7	科学技術と人類の未来に関する国際フォーラム（STSフォーラム）第22年次総会	81	801	378	1,179	国立京都国際会館
10/6~10/10	国際人工生命学会	30	1,350	150	1,500	京都産業会館ホール
10/12~10/13	第58回日本薬剤師会学術大会	3	18	8,655	8,673	国立京都国際会館
10/20~10/22	バイオプロセス国際学会 アジア大会 2025	10	290	10	300	ウェスティン都ホテル京都
10/20~10/24	第15回国際口蓋裂・頭蓋顔面異常学会	96	972	328	1,300	国立京都国際会館
10/26~10/28	世界貴金属会議2025	10	720	80	800	ホテルオークラ京都
11/3~11/5	第98回日本生化学会大会／日本生化学創立100周年記念シンポジウム	14	106	3,471	3,577	国立京都国際会館
11/8~11/9	第20回医療の質・安全学会学術集会	3	10	4,033	4,043	京都市勧業館みやこめっせ
11/13~11/15	BPCNPNP2025 合同年会（第47回日本生物学的精神医学会第35回日本臨床精神神経薬理学会・第55回日本神経精神）	5	28	1,306	1,334	国立京都国際会館
11/13~11/15	第65回日本核医学会学術総会 第45回日本核医学技術学会総会学術大会	8	80	2,420	2,500	京都市勧業館みやこめっせ

期 間	会 議 名	参加国数（日本含）	海外参加者数	国内参加者数	参加者総数	会 場
11/15~11/16	第3回国際バイオプロセス・サステナビリティ学会	14	200	60	260	京都大学 百周年時計台記念館
11/24~11/26	ISIN教育コース2025京都	46	205	41	246	国立京都国際会館
12/3~12/6	国際臓器提供学会（ISODP）2025	39	390	100	490	国立京都国際会館

（注）上記のほか、5 件は公開不可の為、記載を省略。

MICEサポートサービスのご案内

誘致から開催までのサポート

各種助成金制度の活用

国際会議からミーティング、インセンティブまで、MICE のイベントタイプ、規模にあわせた助成金制度や、イベント記念品、通訳ガイドなどの費用を補助する制度など、様々な助成金制度をご用意しております。

京都PR映像の貸出

誘致動画の制作やレセプション会場など
用途にあわせて動画を貸出します。

京都の写真画像の貸出

会議 HP、会議案内チラシ、プログラム等に活用できる
京都の写真画像を貸出します。

京都イメージバンク https://kyoto-imagebank.com/ja

開催決定前のサポート

1 誘致用京都 PR ツールの提供

絵はがき、舞妓ピンバッジなどの
誘致用 PR グッズを提供いたします。

2 京都 PR バナーの貸出

京都開催を PR するための
バナースタンド一式を貸出いたします。

3 コンベンション主催者の視察受入れ支援

4 ビッドペーパー、プレゼン資料の作成支援

開催決定後のサポート

1 便利な観光地図を提供

会議参加者用として、コンベンション施設やホテル情報
が掲載されている便利な観光地図をご用意しております。

2 京都ユニークベニューの案内

京都ならではのユニークなレセプション会場等を
ご紹介します。

3 京都伝統産業製品の貸出

会場装飾用の京扇子などの伝統産業製品を開催時に
貸出します。

4 府市民向け公開講座の広報支援

府市民向け公開講座を開催されるにあたり、
広報に協力いたします。(チラシの配架協力)

MICE 支援サービスに関する問い合わせ
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
TEL 075-353-3053 / kyoto@hellokcb.or.jp

「京都MICE基金」のご案内

KYOTO MICE FUND
京都MICE基金

「京都 MICE 基金」は、京都の多彩な文化・芸術や、豊かな自然環境、美しい景観の保全・継承・活用を図り、京都の魅力や人々の暮らしの向上、MICE・観光振興及び SDGs 達成に寄与する取組みを支援いたします。
皆さまから頂戴した寄附金は、京都の文化、芸術、自然環境等を守り育む取組みへの支援経費として、随時活用させていただきます。
ぜひ、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

支援先について

●京都の伝統文化、祭事、芸能、伝統工芸の継承や保全、活用等促進に係る取組 ●京都の文化財、歴史的建造物などの保全、利用等促進に係る取組
●京都の環境保全に資する取組 ●文化学術都市ならではの取組 ●京都が目指す SDGs 達成に資する取組

寄附方法

クレジット
京都 MICE 情報サイト専用ページから。
https://meetkyoto.jp/ja/kyoto/fund

銀行振込
三菱 UFJ 銀行 京都支店 普通 1281483
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
理事長 村田 純一

募金箱
MICE 関連施設に募金箱を設置。
設置場所は基金専用サイトでご確認いただけます。

寄附控除について

当財団に対する寄附金には、寄附金控除が適用されます。また、京都府市民の方からの寄附金は、個人府民税・個人市民税の寄附金税額控除の適用対象とされます。

京都 MICE 基金に関するお問い合わせ
公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー
TEL 075-353-3053 / micefund@hellokcb.or.jp

（公財）京都文化交流コンベンションビューロー 主な事業内容

国際観光コンベンション事業（公益目的事業）

コンベンション（MICE）事業

◆MICE 関連情報の調査・収集・啓発
① 業界情報収集強化
② 大学・学術団体・学会へのコンベンション情報収集・啓発活動の強化
③ 統計調査・発行
④ MICE 振興に関わる課題解決策の推進
⑤「京都スマートシティエキスポ」への協力等を含めた関西文化学術研究都市推進への参画

◆プロモーション事業
① 内外ネットワーク（情報収集力）の強化
② 政府関連特定会議等の積極的な誘致
③ 海外プロモーション活動
④ 国内プロモーション活動
⑤ MICE 主催者等の京都視察受入れ
⑥ 京都市「大規模国際コンベンション誘致支援助成金」活用

◆開催支援事業
① 政府関連特定会議等の京都開催の運営協力
② MICE 開催支援に係る京都市の助成制度活用
③ 京都市「京都らしい MICE 開催支援補助制度」活用
④ サステナブルな MICE の促進
⑤ MICE主催者と連携したテクニカルビジットの受け入れ、京都のビジネス環境魅力発信
⑥ 京都府「京都府 MICE 開催支援助成制度」活用
⑦「京都 MICE 基金」の運用
⑧ オフサイト・レセプション等の企画・提案
⑨ 各種開催支援サービス制度の運用及び拡充

◆MICE に関する広報宣伝事業

京都版 DMO 主体事業（京都市観光協会との共同事業）

◆ インバウンドプロモーション
〇海外情報発信・収集拠点の運営　〇京都市域内統計収集・分析（ホテル・旅館統計など）　〇多言語ウェブサイトの運営
〇SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の運営　〇海外メディア取材支援・ファムトリップ支援等　〇商談会出展
〇京都市認定通訳ガイド認定・育成事業　〇高付加価値な体験コンテンツの造成支援

広域プロモーション事業

①宇治茶プレミアムブランド化事業　②府市及び各地域DMOとの連携によるインバウンド・海外販路拡大プロモーションの実施

文化交流発信事業（公益目的事業）

古典の日推進事業

◆古典の日普及啓発事業
① 古典の日燦讃2026「古典の日フォーラム」
② 古典の日燦讃2026「村田記念 古典の日文化基金未来賞」授賞式
③ 第18回古典の日朗読コンテスト
④ 街かど古典カフェ　⑤ 源氏物語展にあわせたシンポジウム

◆情報発信・広報活動・関係団体との連携等
① 他団体等との連携の推進
② 古典の日絵巻第十五巻　③ ポッドキャスト
④ 各区役所との連携事業

文化発信事業

◆ 京都迎賓館支援事業
① 外国賓客のもてなし
② 参観支援・啓発関連（文化発信事業、一般公開の支援）

◆ 文化振興に資する発信事業

共益・収益事業

◆ 賛助会員制度の運営
①新規勧誘の促進
②会員に対する働きかけ
③会員の集いの開催

◆「京都文化振興友の会」の運営
◆ 京都迎賓館記念品の販売

その他の事業（公益目的事業）

◆会報誌「コンベンションビューロー通信」の発行（年 4 回）
◆関係団体との連携等
①賛助会員等への支援強化
②文化庁との連携に関するオール京都の取組
③その他の取組
「時代祭」での横断幕参加や、「京都・花灯路」「京の七夕」への主催者団体としての参画など、オール京都の事業に関係団体と連携して取り組む。

（公財）京都文化交流コンベンションビューロー　概　　要

【2026年4月7日時点】

1 名　　称　公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

2 所 在 地　京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地　京都経済センター 3 階

3 設　　立　平成19年1月9日
※平成23年10月3日付で公益財団法人へ移行登記

4 目　　的　文化・芸術の普及向上に努めるとともに、国内外のコンベンション誘致及び賓客等の入洛を促すことにより、京都文化を広く世界に発信し、国際的な交流拠点としての「京都」の魅力をより一層高め、活力あふれる新たな「京都」の創造に寄与する。

5 事業概要　（1）京都の文化・芸術等のための事業推進と府内外への情報発信
（2）コンベンション等の誘致および賓客・海外観光客の招聘、入洛のための事業推進
（3）その他のこの法人の目的を達成するために必要な事業

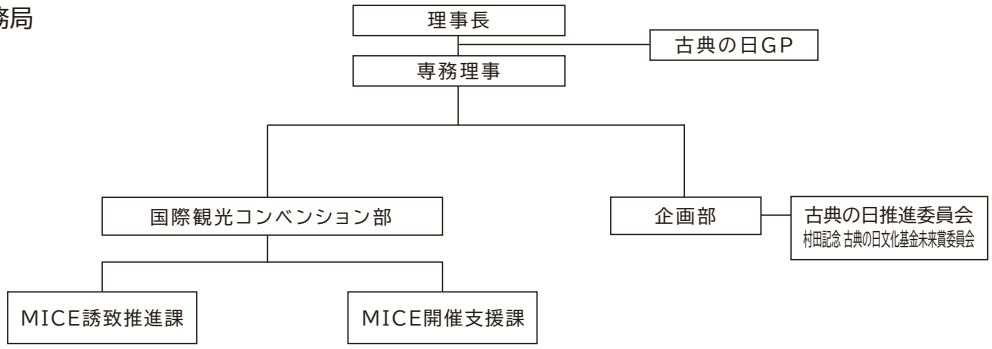
6 組　　織

（1）役員等

顧問	西脇　隆俊（京都府知事）
	松井　孝治（京都市長）
評議員会長	金剛　永謹（金剛流 宗家）
評議員	12名
理事長	村田　純一（京都商工会議所 名誉会頭）
副理事長	岡田　憲和（京都市 副市長）
（五十音順）	鈴木　一弥（京都府 副知事）
	千　　宗室（茶道裏千家 家元）
	田中　誠二（京都商工会議所 副会頭・大和学園 学園長）
	増田　優一（国立京都国際会館 館長）
専務理事	山本ひとみ（京都文化交流コンベンションビューロー）
理事	6名
監事	中村　健児（京都銀行協会 専務理事）
	岩田　竜大（京都府信用金庫協会（京都中央信用金庫執行役員秘書室長））

（2）賛助会員数　333 会員（企業 / 団体）

（3）事務局



2025 京都開催の国際会議

令和 8 年 6 月発行

編集・発行 :
公益財団法人
京都文化交流コンベンションビューロー

TEL : 075-353-3053
FAX: 075-353-3055
e-mail: toukei@hellokcb.or.jp

URL: meetkyoto.jp

KYOTO
TRADITION MEETS INNOVATION

Kyoto Convention & Visitors Bureau

公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

https://meetkyoto.jp

meetkyoto.jp 検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

KYOTO MICE FUND
京都MICE基金